

※正答率

	国語	数学	2教科合計
勝田中	78.4	80.1	158.5
基礎	78.4	83.2	
活用	78.6	67.5	
岡山県	73.3	67.4	140.7

※結果分析(○できている ●できていない)

〈学力調査〉

【国語】

- 小学校で学習した漢字の読み書きができる。
- 文学作品で、登場人物の心情をとらえることができる。
- 文章の表現の特徴や、語の修飾について理解が十分でない。
- 指定された条件に従って、自分の考えを書くことができにくい。

【数学】

- 小数・分数の計算、比や割合を求める問題ができる。
- 反比例の表の読み取りができる。
- 図形の面積、三角形の外角の大きさの求め方、線対称な図形の対応する点が理解できる。
- 3人が一列に並ぶ並び方を求める問題ができていない。

〈学習状況調査〉

- 家族といっしょに朝食を食べて、決まった時間に寝ている。毎日の家庭学習を2時間以上している生徒が県平均よりかなり高い。家の人や先生に認められていると感じていて、夢や目標を持っている生徒が多い。地域の行事に参加したり、あいさつをしていると答えている生徒も多い。
- 学校の出来事を話したり、家の手伝いをしている生徒が県に比べてやや低い。また自分が好き、自分にはよいところがあると思う生徒の割合が県平均よりやや低い。

〈学校としての対応・目標〉

2教科ともに県平均を上回っています。学力学習状況調査での課題に取り組み、学習事項の定着に向け、一層、努力します。

①授業に力を入れます。→「かつたっ子授業のスタンダード」をベースにした授業づくり

- ・毎時間の中で復習(小テスト、暗記、重要事項の確認)の時間を設ける。
- ・ICT機器などの視覚的な教材を使ったわかりやすい授業を工夫する。
- ・じっくり考える場面、活動する場面、発表する場面、まとめ、ふりかえりの場面を設定する。

②学習習慣をつけられるようにします。

毎日の課題(デイリーワーク)と週末課題(ウイークリーワーク)によって、一定量の学習時間を確保して、毎日復習をし、必ず提出する習慣をつける。また自分で家庭学習の内容を考え、習慣化できる力(セルフコントロール力)をつける。

③自己有用感を持てるような活動や取組を工夫をします。日常の生活で規範意識を大切にして、継続して取り組んだ努力が自分を高めることを実感させるようにします。

〈保護者の皆様へのごお願い〉

課題とその提出状況をテスト連絡ファイルでご家庭にお知らせしています。提出の遅れも含め、お子様の家庭学習の達成度をご確認ください。決まった時間に勉強するなど家庭学習の習慣が身につくよう、励ましの声をかけてくださると子どもたちもがんばれると思います。スマホの使用については家庭でルールを決めていただき、お子様とのコミュニケーションを大切にさせていただくようにお願いします。